

# 2025年度 学生による授業評価アンケート結果

2025年度における全科目の7項目の評価平均は、**前期は昨年度の4.58から4.67と向上、後期は4.56から4.54と減少し、全体としては、昨年度の4.57から4.60に向上した。**

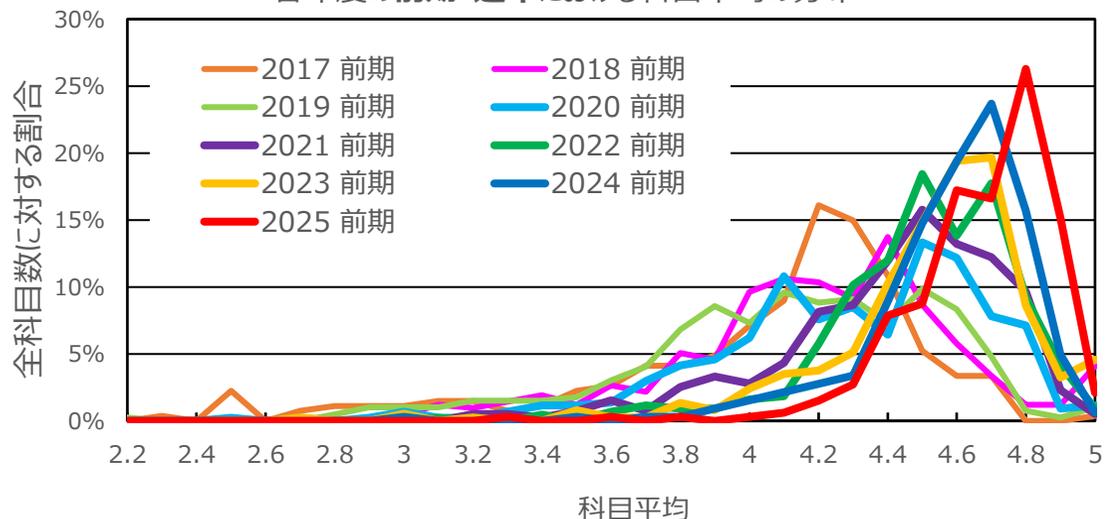
## 全科目の評価平均と標準偏差

年度	科目数	平均
2017前期	267	4.03
2017後期	251	4.04
2018前期	415	4.19
2018後期	407	4.06
2019前期	396	4.10
2019後期	367	4.16
2020前期	遠隔授業評価アンケートを実施	
2020後期	435	4.28
2021前期	393	4.41
2021後期	390	4.39
2022前期	434	4.50
2022後期	415	4.50
2023前期	371	4.52
2023後期	347	4.51
2024前期	325	4.58
2024後期	321	4.56
2025前期	331	4.67
2025後期	331	4.54

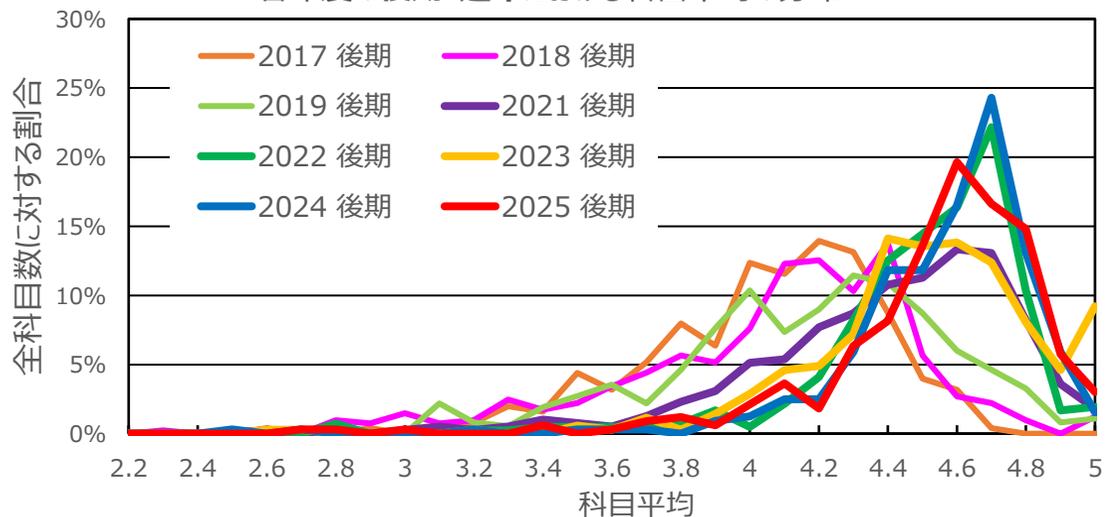
年度	延べ科目数	年度平均
2017年度	518	4.04
2018年度	822	4.13
2019年度	763	4.13
2020年度 (後期のみ)	435	4.28
2021年度	783	4.40
2022年度	849	4.50
2023年度	718	4.51
2024年度	646	4.57
2025年度	662	4.60

分布をみると、**前期後期共に評価平均が4.2以下の科目が減少し、4.5以上の科目が増加した。**

各年度の**前期・通年**における科目平均の分布



各年度の**後期・通年**における科目平均の分布



## 設問毎の評価の全科目の平均はどの設問も向上している。

**Q1～Q3**：シラバス通りの授業内容、試験内容、成績評価における評価は高い。

（前期平均4.73、後期平均4.6、全体平均 4.67）

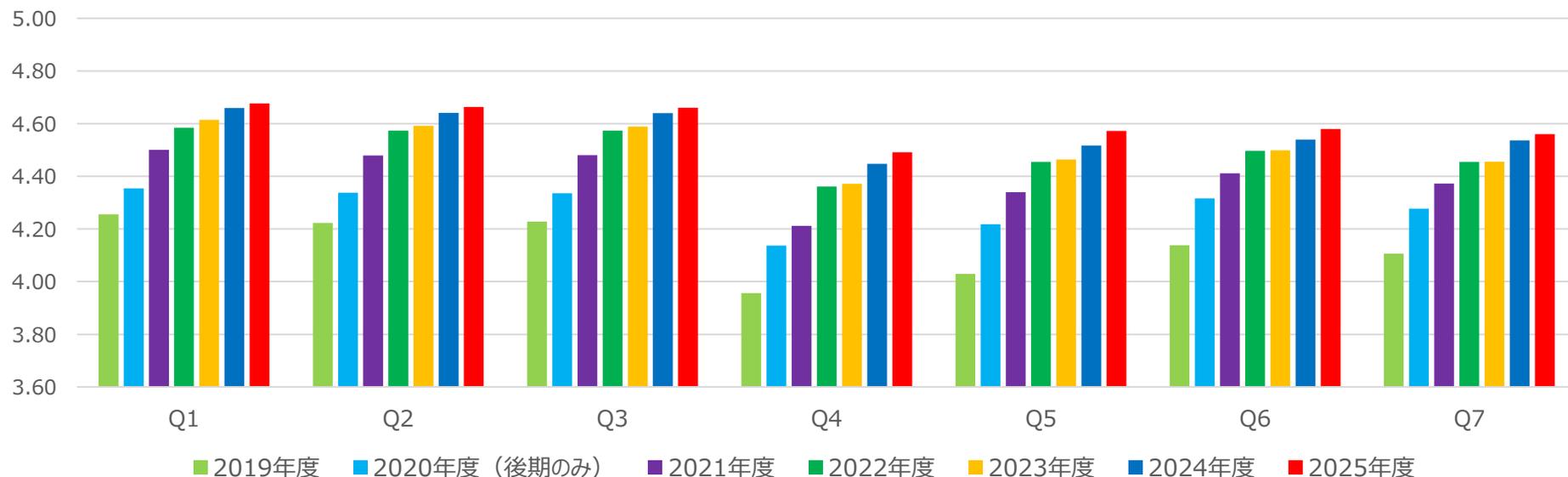
**Q4**：授業の説明や資料の分かりやすさの評価は向上しているが、まだ改善が期待できる。

（前期平均4.55、後期平均4.44、全体平均 4.49）

**Q5～Q7**：質問に対する丁寧な説明や到達度を確認させる取り組みの評価は向上している。

（前期平均4.64、後期平均4.5、全体平均 4.57）

設問毎の科目平均の評価の推移



Q1 学習・教育目標と達成・到達目標，成績評価方法，教育内容や教育方法が，シラバスに記載されている，もしくは授業中に周知されている。

Q2 授業や試験等の内容はシラバスや授業中の周知内容と同様であった。

Q3 成績評価はシラバスや授業中の周知内容と同様であった。

Q4 授業において提示された説明および資料は分かりやすかった。

Q5 教員は学生の課題解答，試験答案，実技の評価の質問に的確に説明・指導を行なった。

Q6 私はこの授業の内容を理解するために積極的に取り組んだ。

Q7 私は練習問題や試験，実技を通して自分の理解や到達状況を確認しながら学習した。